

TALK IN JAPANESE FOR 6 WEEKS

# WEEKLY

日本語で話す 6 週間

book 1

## 【トレーニングのヒント】 (week3 編)

\* トレーニングは、スポーツ感覚で体（口）に覚えさせましょう！

## Unit 11 性格を表す語彙

### \* 性格を表す語彙を覚える

#### 【用意するもの】

・ p.43 「言葉を増やそう」 Q2 <性格>の文字カード

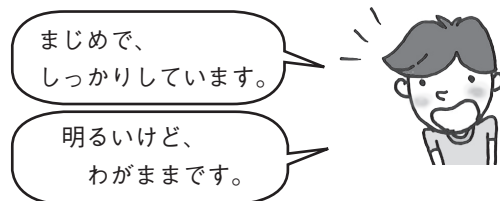
#### 【手順】

① カードを2枚引く。

② 順接か逆説（～て／～けど）でつなぐ。

例)

まじめ	しっかりしている
明るい	わがまま



## Unit 12 「～し、～し、……」

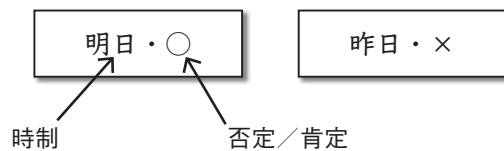
### \* 普通形がすらすら言える

(→「トレーニングのヒント (活用編)」参照)

### \* 「～し、～し、……」の接続がすらすらできる

#### 【用意するもの】

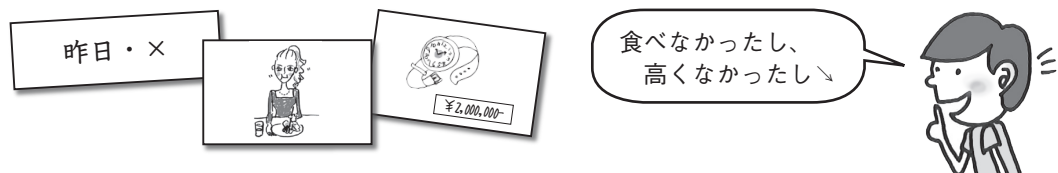
- ・動詞・形容詞の絵カード
- ・下のような、時制と肯定・否定がわかるカード



#### 【手順】

- ①『時制と肯定・否定がわかるカード』『動詞』『形容詞』3つのカードを引く。
- ②「～し、～し、」に接続させる。

例)



### \* 「～し、～し、……」を使って、理由が素早く言える

#### 【用意するもの】

- ・特になし

#### 【手順】

- ①教師がキューを出す。
- ②学習者は、教師が出したキューに理由をつける。

例) 教師 : 『日本語は難しいです』

学習者 : 「漢字もあるし、敬語もあるし、日本語は難しいです。」

教師 : 『あのレストランは人気があります』

学習者 : 「料理もおいしいし、サービスもいいし、あのレストランは人気があります。」

## Unit 13 て形

### \* て形がすらすら言える (テキストの新出語彙も含めて練習する)

(→「トレーニングのヒント (活用編)」参照)

### \* 付帯状況の「VてV / VないでV」がすらすら言える

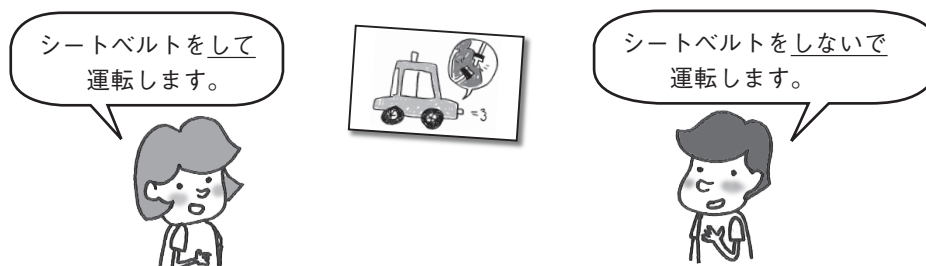
#### 【用意するもの】

- ・テキストの付帯状況の絵をカードにしたもの  
例) p.50 「シートベルトをしなくて運転します」の絵  
p.50 「音を立てて食べます」の絵  
p.51 「足を組んで座ります」の絵  
p.51 「ひじをつけて食べます」の絵 など

#### 【手順】

- ①ペアになって、絵カードを引く。
- ②1人が「VてV」の形で、もう1人が「VないでV」の形で言う。

例)



\* すらすらできる学習者は、下の例のように、後ろの動詞の部分を考えて話す。

- 例) 学習者 A: 「シートベルトをして運転したほうがいいです。」  
学習者 B: 「シートベルトをしなくて運転してはいけません。」

## Unit 14 て形・「～てしまったんです」

### \* て形がすらすら言える

(→「トレーニングのヒント (活用編)」参照)

### \* 「～てしまったんです」の文がすらすら言える

#### 【用意するもの】

- ・ p.54 「答えてみよう」の絵をカードにしたもの
- ※答えがチェックできるように、裏に動詞を書いておく。



#### 【手順】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aは学習者Bにカードの絵を見せる。
- ③学習者Bは「～てしまったんです」の文を作る。

例)



#### トレーニングのヒント

\*学習者Aには、学習者Bの発話のあとに、あいづちやコメントをするように指導する。

例) 「そうですか。」「それは大変ですね。」「残念でしたね。」など

## Unit 15 「～そう (伝聞)」

### \* 普通形がすらすら言える

(→「トレーニングのヒント (活用編)」参照)

### \* 「～そうです (伝聞)」の接続がすらすらできる

#### 【用意するもの】

- ・動詞・形容詞の絵カード

#### 【手順】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aがカードを見てキューを出す。  
(時制、肯定／否定は、学習者Aが考えてキューを出す)
- ③それを聞いた学習者Bは「～そうです」の形で言う。

例)



\* すらすらできる学習者は、単語だけでなく、文でキューを出すように指示する。

学習者A：(カード「食べる」)「昨日、何も食べませんでした」

学習者B：Aさんは、昨日何も食べなかったそうです。

#### トレーニングのヒント

\* 形のトレーニングではあるが、伝聞の練習なので、学習者Bは情報発信者である学習者Aに向かって「～そうです」と言わないようにする。少し横を向いたり、架空の人物Cに向かって「～そうです」と伝えるようにするとよい。